

令和7年11月12日	
所 属	感染症対策担当
所属長	石井 智鶴
電 話	06-4869-3062

結核集団感染事例の発生について

市内において結核の集団感染（発病者7人・感染者13人）が確認されたことから、お知らせします。

1 概要

- (1) 初発患者（20代・男性）は、令和7年6月中旬から咳、痰、腹痛、喀血、発熱等の症状があり、市外医療機関を受診したところ同年6月18日（水）に結核と診断されたため、当該医療機関から尼崎市保健所に対して患者発生の届出がありました。
- (2) 初発患者が通う市内の日本語教育機関等における接触者（53人）を対象に接触者健診を実施したところ、令和7年11月6日現在で、結核患者（発病者）7人と、感染者（未発病者）13人を確認しました。

接触者健診の結果

区分	対象者数	受診者数	受診結果		
			発病者※1	感染者※2	異常なし
学校関係者等	53人	53人	7人	13人	33人

※1 発病者とは、結核菌により肺などに病巣が出来ている者

※2 感染者とは、結核菌に感染はしているが、発病には至っていない者

- (3) 接触者健診により確認した、結核患者及び感染者に係る結核菌の遺伝子型別検査を実施したところ、複数名が初発患者の結核菌と遺伝子型が一致しており、同一の感染源による感染と判断しました、

あわせて、厚生労働省が定める結核集団感染の定義に該当することを確認したことから、平成19年3月29日付け厚生労働省通知「結核に係る感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第17条に規定する健康診断の取扱いについて」に基づき、今回の事例を結核集団感染事例として認め、厚生労働省に報告しました。

（参考）結核集団感染事例の定義

同一の感染源が2家族以上にまたがり、20人以上に結核を感染させた場合をいい、発病者1人を6人の感染者に相当するとして感染者数を計算するものとする。

2 患者及び感染者の治療状況

- 初発患者は、結核専門病院にて入院治療を経て、現在は通院治療中です。
- 発病者は、通院にて服薬治療を開始しています。（うち1人は帰国）
- 感染者は予防的に服薬治療を開始しています。

3 今後の対応

結核患者及び感染者に対しては、治療が終了するまで服薬支援を実施します。

また、今回の事例を踏まえて市内の医療機関や日本語教育機関に対して情報提供及び啓発を行います。

【市民の皆様へ】

結核は、今でも国内で年間 10,000 人以上の新しい患者が発生し、1,400 人以上が命を落としている日本の主要な感染症です。本市では、全国、兵庫県に比べると、結核の罹患率が高い水準にあります。

年に 1 度は胸部レントゲン検査を受けましょう。また、「咳、痰が 2 週間以上続く」「微熱」や「倦怠感」があるなど気になり症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

1 結核とは

結核菌によって、主に肺に炎症が起こる病気です。菌を出している患者の咳やくしゃみの「しぶき」によって、菌が空気中に飛び散り、周囲の人が直接吸い込み感染します。

なお、結核菌は紫外線に弱く、太陽に数時間あたると数時間で死滅します。

2 結核の予防

(1) 2 週間以上咳や微熱、だるさがある場合は、早めに医療機関へ受診しましょう。

(2) 定期的健康診断で異常を指摘された場合は速やかに受診しましょう。

(3) 乳児の BCG 予防接種は必ず受けましょう。

抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症になりやすく、予防のためには、BCG 接種が有効です。※BCG の定期予防接種 1 歳未満（標準的な接種は生後 5 か月～8 か月の間）

(4) 健康的な生活で免疫力を強化しましょう。

結核に感染しても、多くの場合免疫力が結核菌に勝って症状が出る（発病する）のを防ぎます。規則正しい生活を心がけましょう。また、栄養バランスの取れた食事と十分な睡眠、適度な運動などが大切となります。

3 結核の治療

結核と診断されても 6～9 か月間毎日きちんと薬を飲めば治ります。

しかし、症状が消えたからといって、治療の途中で服薬を止めてしまうと治らないだけでなく薬が効かなくなります。

医師の指示を守って、治療終了まできちんと薬を飲み続けることが最も重要です。

【参考】 尼崎市における結核罹患率の推移（人口 10 万人対）

	S50 年	S60 年	H10 年	H20 年	R2 年	R3 年	R4 年	R5 年	R6 年
全 国	96.6	48.4	32.4	19.4	10.1	9.2	8.2	8.1	8.1
兵庫県	129.7	68.4	46.5	23.0	11.7	10.8	9.8	10.2	9.4
尼崎市 (患者数)	149.5 (816 人)	91.7 (467 人)	67.9 (325 人)	33.6 (155 人)	17.3 (78 人)	15.1 (69 人)	14.5 (66 人)	14.3 (65 人)	12.1 (55 人)

※ 結核罹患率とは：1 年間に新たに結核と診断された患者数を総人口で割った数

尼崎市ホームページ：結核予防について

<https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/kenko/kansensyo/1037371/138kekkaku02.html>